



## 第9回 講師： 米国大使館 農産物貿易事務所 農務通商専門官 大塚 雅之 氏

テーマ：「美味しいマーケティング」

取締役副社長  
文責：横田 郁夫

4月16日、米国大使館 農産物貿易事務所、農務通商専門官の大塚雅之氏をお招きして、第9回 AD塾が開催されました。「団塊世代」の狭間、極少人口世代に生まれた大塚氏。米国のTV番組や、インタラクティブ・メディアのはしりとなった深夜放送の全盛期からの影響、情報の集積がテレビの普及からパソコンへと移り、インターネットの時代が到来するまで、一貫して世界からの情報に親しみ、学生時代から日本と海外の懸け橋になりたいと考えていたそうです。前職での大手量販店勤務時代、1987年既にワインの可能性に着目し、酒販店免許や商流で守られていた当時の酒販流通に果敢に挑み、直輸入ワインのリスクを背負いながらも、世界五カ国から全15種類のフレッシュワインをお値ごろ販売。結果、日本のあらゆる業界が眼を見張る成功を収めて以来、日本に於ける輸入ワイン市場拡大の礎と道筋を作られました。その後も数々の輸入食品開発を続け、その実績や海外経験をかわれて、米国大使館に勤務することになります。日本への食料安定供給を図りながら、米国食文化のイメージアップを通じて、米国食品の販売促進を企画することになり、まさしく日・米・世界との懸け橋となる業務に携わっています。米国の食文化を紹介するにあたって、仏・伊料理と違い、イメージが確立されていないばかりか、ファスト・フードのイメージが強い米国料理を、洗練されたカジュアル・クイーンに育て上げる活動を1997年早々に開始します。大塚氏はまず米国を5つのブロックに分け、地域の食材をフォーカスした郷土料理の定義を作成します。ホテル・レストランなどのアップ・スケールな食の機会をターゲットにし、ピラミッドがすす野を広げる手法で、米国食材の普及活動を広げてきました。この中で、弊社と一緒にPRパンフレットも作成し、「美味しいアメリカを楽しく味わえる機会」を創作し続けてらっしゃいます。大塚氏は「国際的な仕事をしていて大切なこと」として、幅広い国際感覚と、高度な倫理観を持って事に当たることが大切、また、言語・習慣・宗教的な違いを理解して、自分の行動につなげることもその一つ。世界では当たり前のように自己啓発し、自らの能力を高めながら社会活動すること、コミュニケーション能力を高めながら、チームワークの大切さも学んでいく。常に自分のアイデンティティを大切に、倫理観と信念を一致させる事が大切である、とまとめて頂きました。今回もあっという間に、楽しく時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



### 次回は…第10回 AD塾

日時：5月28日(火)18:00~20:00

講師：株式会社マグナ 代表取締役社長 鈴木 麻美子 先生  
テーマ：「好感度女性1000人のネットワークから始める女性マーケティング」



鈴木 麻美子先生 プロフィール

1972年生まれ。神奈川県出身。日本女子大学人間社会学部卒業。大学在学中からTVの女子大生リポーターとしてデビュー。卒業後はフリーのMC・ナレーター・リポーターとして活動。2005年4月に株式会社 magna を設立し、現在はアナウンサー・MC・ナレーター・モデルなど1000人のネットワークを中心としたキャスティング事業、女性に特化したマーケティング・プロモーション事業を展開しています。

現在女性の購買決定権は7割とも言われています。アナウンサーやモデル、CAといったトレンドに敏感で情報発信力の高い女性をネットワークしたことから、女性の特性ともえるクチュミカ、共感性、購買力の高さを実感し、密室で働いておさまる方が決定してしまうサービス・商品に物申したいと、日々、女性消費者目線での提案を行っています。女性の特性や、女性に特化したマーケティング、また女性を取り巻く労働環境についてなどお話しさせていただきます。

受講者募集中！ >>> 弊社社員までお問合せください。5/21(火)まで受付。

## 第12回

たまには休まれたらいいかたしょう。

### 世界遺産 パワースポット「南紀・伊勢めぐり①」

夫婦で気運を高めるため南紀勝浦・伊勢志摩へ2泊3日で小旅行に行ってきました。7時間近くかけて、世界遺産で熊野三山の一つ熊野速玉大社へ。



1日目は南紀勝浦温泉、ホテル浦島泊。天然の大洞窟温泉忘帰洞をはじめ6つのお風呂めぐりで温泉三昧。2日目は、熊野古道、大門坂散策、那智の滝、熊野本宮大社等で満喫。



2日目は伊勢志摩温泉、賢島宝生苑へ。さすが5つ星の宿、お勤めのホテルです。さて、3日目は、夫婦仲良くになれるように(祈)、二見興玉神社で夫婦岩を見に行きました。



COO代表取締役社長  
岩澤 二三夫

その後、今回の旅の目的であります伊勢神宮へ。。。(次号につづく)

#### <薩摩の教え・男の順序>

1. 何かに挑戦し、成功した者
2. 何かに挑戦し、失敗した者
3. 自ら挑戦しなかったが、挑戦した人の手助けをした者
4. 何もしなかった者
5. 何もせず、批判だけしている者

### アフリカン・ジャズ・ファンクの最高峰 “Kool & The Gang”

<ファンク黄金時代>

1970年代前半、ソウルの時代からディスコの時代へと移り変わる5年程の間、アメリカの黒人音楽の世界では、後に『ファンク』と呼ばれることになるヴォーカル・インストゥルメンタル・バンドによるダンス音楽がいっせいに花開きました。その中で最も代表格は多分“アース・ウィンド&ファイヤー”、そして今回紹介する“クール&ザ・ギャング”でしょう！彼らの音楽はその後30年以上活躍を続ける息の長い存在です。しかし、彼らの黄金時代とも言える1970年代のサウンドは、今やディスコでのスタンダード・ナンバーとなった曲以外、殆ど聞かれることはありません。(ヒップホップアーティストたちによってサンプリングされたり

リミックスされたものが最近では聴けるようになってきていますが…)

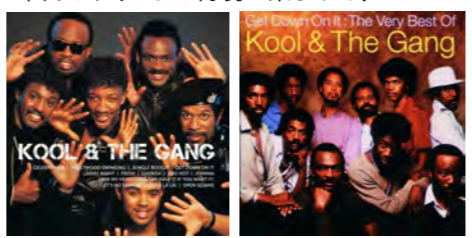
<ジャズ・ファンクからバラードへ>

クールやアースなど、この時期のファンクバンドの多くは、その基礎がジャズであり、そのテクニックを活かして新しいジャンルに挑んだのがファンクだったので。しかし、1975年頃からの世界的なディスコブームにより高度な演奏技術や複雑なリズムを持つ曲がマーケットから排除され、いつしかファンクバンド達は単純なディスコやポップで通用するバラードナンバーを発表し生き続けるのです。1977年の映画「サタデーナイトフィーバー」に楽曲を提供したりして1980年後半までヒット曲を発表し続けました！

<Kool & The Gang x ad project>

そんな彼らと米軍基地を舞台にして仕事をするこに

なりました！既に第一線からは退いていたと思いましたが現在でも活動しているのです！大変楽しみです！現在、米国から届いたライダー(仕様書)を読みながらステージ、バックライン、音響、照明等の手配をしていますが、とうやらアナログなのです！1970年代のサウンドの再現！楽しみです！



2013 5  
vol.012

～プロデューサーへの道～

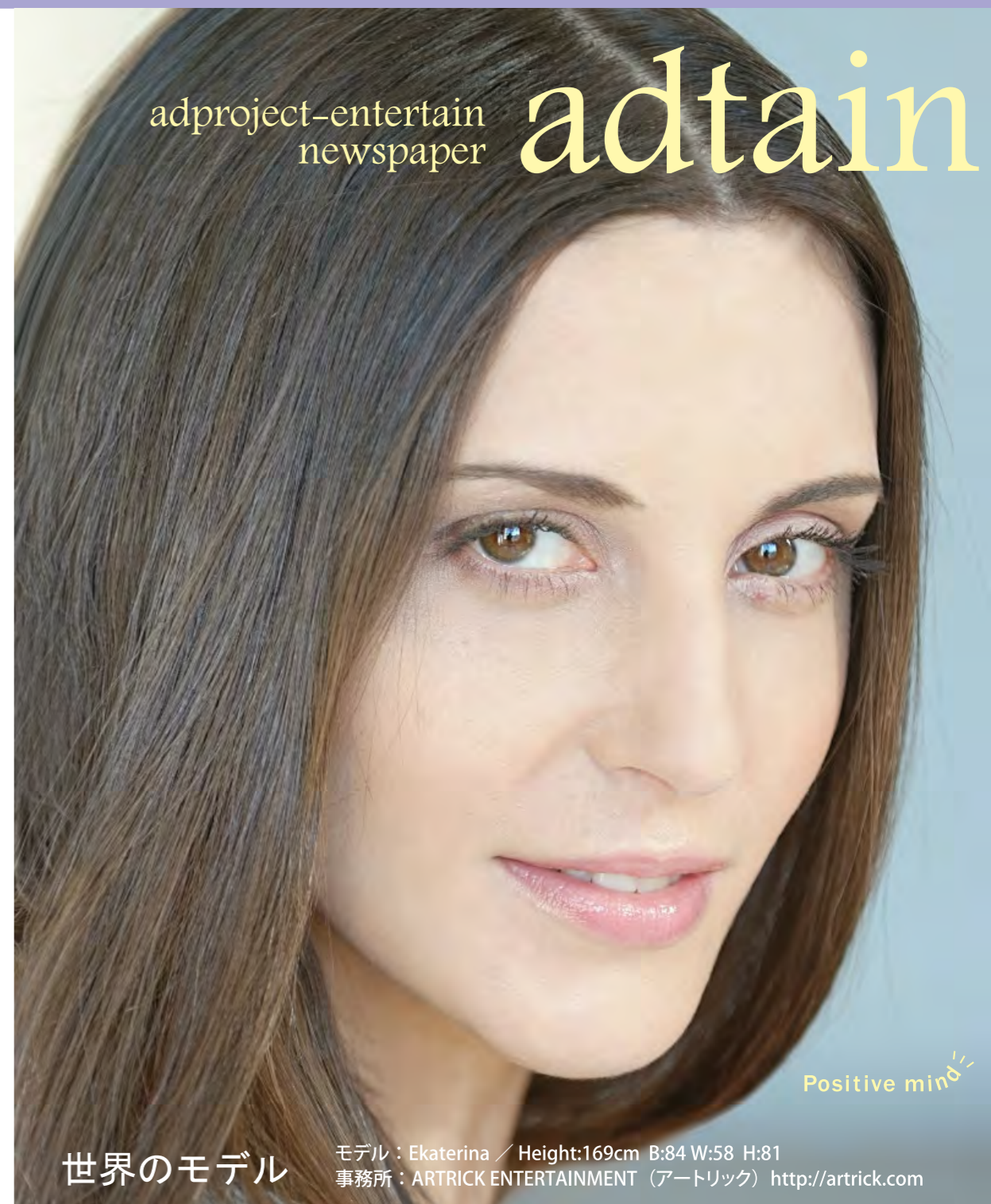
## 夜明けの Entertainment 第18回



CEO代表取締役会長  
檜垣 俊幸

■波を起こせ！  
時代に波紋を投じる人間である為には、大志を抱かなければなりません。私たちの会社は「ポジティブ・マインドの拡張」という使命を果たす事で、社会を前向きにする役割を持ち、多くの人々に幸せをもたらします。それを大志とし、自分の行動指針を組み立てる事が大切です。この波を起こす為の行動指針(Actionplan)には、スケルトン(Skeleton)と言う骨組みが大切です。この骨組みには、それぞれベクトルと言う「幹」と、多様な方向性を示す「枝」があります。これらは未来を指し示すポジティブな方向を向いています。このポジティブな感触は様々な価値基準をリスペクトします。多種多様な価値基準は、美辞麗句では語りつくせないカオスな世界を創造します。波紋を起こすであろう創造は、混沌とした価値基準に対し、終焉なき波紋を抱かせ、共鳴し合い、ぶつかり合う波によって想定外の大波を生み出します。時代を見つめ、時代の歪を見抜き、時代が元気になる因子を創造し、クリエイティブ因子にポジティブ・マインドを刷り込む事で潮流と言う時代の波は起こります。そして限りない広がりを見せます。それが「時代と流行」です。

■風を起こせ！  
時代を元気にする因子を持った波が広がりを生かす為には、ネットワークと言う風を起す仕掛が大切です。それはSNSなどの全世界や全世代に広がりを生かす新・リレーションシップです。このネットワークにはポジティブ因子の記号がある情報を高速度で伝達し、フォローウィンドウ(追い風)を起させると言う力があります。風を起こす事、それは情報にポジティブ因子を添加する事で、フォロワーを幸せにするという能力が生まれてきます。そして伝えるから伝わりと言う積極的な流れの因子が出来ます。この因子を創造し、添加をする事が新情報化時代に適応したポストマーケティング



adproject-entertain newspaper  
adtain

世界のモデル

モデル：Ekaterina / Height:169cm B:84 W:58 H:81  
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) http://artrick.com

### adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

ング作業と言えます。利便性の時代から心の満足する時代。皆がオリジナルの価値感を持ち、情報化の波を乗り越え“国民総情報ネットサーファー”の時代は、そんなに遠くないでしょう。World Wide Web の情報の中で、幸せ比較ができる時代なのです。

■これからが本番だ！  
人が何かを学び、何かに夢中になり、何かに頼り、生きてゆく為の意気込み。それは「これからが本番だ！」と言う精神を持つという事です。それと同時に、過去に学び、未来を創造する為のセオリー(理論)であり、夢の自己実現への証でもあります。私達が親から子供へ、子供から孫へと継がれてきた“生きる為の世代の糧”になるのです。自分の生きる時代を意識する事、それは世代意志と呼びます。自分達

### 世界の彫刻物

～チェコスロバキア～

David Černý作  
Hanging man (ぶら下がる男)

ぶら下がる男を表現した、プラハにある興味深い作品です。彫刻物というよりもイベントと言った方が適切な表現です。パフォーマンスの領域でもあります。



がんばれー！



adproject 公式 facebook を check

adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね！ をお待ちしております。

facebook adproject

検索

もしくは、https://www.facebook.com/adproject.japan

今月の一言  
コピーライター 村野 文香

無知は、未知。

今ある自分を、現実を見よ。  
あらためて見てみれば、知らないことだらけだ。  
自分に無知であることは、未来を強くする。  
知らなかったことを知ろうとするなかで、きっと何かが見えてくる。

## 営業本部 第1プロジェクト

### VICTORY名古屋グランドオープンイベント

日時：2013年4月20日  
会場：オートプラネット名古屋  
種類：企画・運営

#### ▶ 今日から始めようBIKE LIFE!

4月20日(土)に私が入社して2ndとなるイベント運営を行いました。弊社がホワイトハウス社のPRエージェンシー契約を結んで、初めてのイベントでもありました。アメリカンバイクのカスタム界で誰もが知る親子アレン・ネス氏、コーリー・ネス氏を招いた、盛大なオープンイベントでした。



私が今回のイベントを通じて大切だと感じたことは、「来場者に興味を持ってもらえる呼びかけをする」ということです。その日にイベントがあることを知らなかった来場者に対して、ただ通り過ぎるだけの場所になるのか、その日の思い出の場所となるのかは、私たちの呼びかけ次第で変わってくるのではないかと思います。私の呼びかけで、足を止め、そして興味を持ってくださる来場者が増えるように、頑張っていきたいと感じました。

## 営業本部 第4プロジェクト

### のりものは趣味か仕事か?

日時：2013年5月3日(金)～5月6日(月・祝)  
会場：千葉県内の商業施設  
種類：制作・運営

#### ▶ 仕事は趣味か仕事か?

趣味は仕事。。バブル期の「24時間働けますか?」の時任三郎ではありませんが、仕事の中に自分の好きなことを入れるのは楽しい時間だと感じています。何年前かから地道にこそこそやっている、鉄道模型を使ったイベント。私にとってはある種のオアシスであり、反面、自分との戦いでもあります(笑)。。  
仕事上で知り合ったある税理士さんの話です。趣味が鉄道模型。本業はもちろん税理士。趣味が高じてはじめたネットでの中古の鉄度模型販売。。今から約15年前の話ですが、今となっては全国に15店舗以上、売上も10億円以上の企業に成長し、本業を続けながら鉄道模型の世界に名を残す方となりました。  
また、有楽町に鉄道模型をテーマにしたカフェ(有名コーヒー会社様の飲食製品が入っています)も展開され、オープニングに呼んでいただきましたが、趣味人の視点からのお店で、色々な鉄道模型をテーマにした店はありますが、かなりレベルの高いジオラマを観ることができます。一見の価値あります。  
父の口癖が思い出されます「好きこそもの上手なれ」。正にその言葉通り結果を残すことになるのだなと実感できる方です。尊敬というよりは「うらやましい」が私の本音です。何か没頭できることがあれば。。と思えますが、それは今、私にとっては目の前の仕事、そう信じてやっています。  
少々それましたが鉄道模型の話。実は今回で4回目。基本はレンタル品で制作しつつも、毎回、毎回、少しずつ車両や備品を買い足して充実させています。今回の目玉は「京阪電車6000系」。昭和58年デビューの沿線に住んでいた私にとっては青春の車両です。いまデスクに飾っています。過去のスタイルから一新し、今に続くスタイルを確立した車両で、全部で112両(私の記憶です)製造されました。これを千葉で走らせる。。かなり関係ない感じですが、それくらいの遊びはお許しいただければと思います。もちろん、千葉を走る車両、E259・E217・E231もご用意しておりますので(笑)ちなみに、弊社所有の鉄道模型には先頭車両にカメラが搭載されており、ミニチュアの世界ながら臨場感を味わっていただくことができます!  
是非、めったにないと思いますが、企画にお困りの方はご相談いただければと思います! よろしくお願いたします。



旧型から新型へ

山崎 涼香  
おうし座



した。そこで、私が感じたアメリカンバイクの魅力をこの場を借りて皆さんにもお伝えしたいと思います。

↓ZACH NESS CROSS COUNTRY



私が一番魅力的だと思った車両はZACH NESS CROSS COUNTRYです。「ザック・ネス」とは、なんと!今回イベントにゲストとして参加して下さったアレン・ネス氏の孫であり、コーリー・ネス氏の息子さんなのです。そのザック氏がデザインしたバイクは、バガースタイルでクールなデザインがとても素敵ですよ。

その他名古屋と東京にすでにオープンしているインディアンのショールームに並ぶバイクは、プレミアムでクラシックなデザインに、女性でも一目惚れしてしまう方が多いのではないのでしょうか。今までは車派でバイクには目を向けなかった方、特に大型バイクに興味なかった方もこの機会に、ビビッとしてしまうような、あなたにぴったりのバイクを探してみてください。きっと見つかりますよ!

↑Chief Vintage



Producer  
橋元 大輔

## 営業本部 第2プロジェクト

### 新企画立案 ～日本の文化・伝統の持続維持を考える～

日時：2013年4月某日  
種類：企画

#### ▶ What can I do for Japan?

第2プロジェクトの話ではないのですが、先日橋元氏の呼びかけで、デザイナーの大山先生の元にプレスト召集、先生の思いと、この先にある仕事について考える時間を頂きました。大きなテーマは掲げられずに始まったミーティングでしたが、日々の業務に追われる中、仕事によってお客様に喜んでもらうことの上に、一社人として自分は何が出来るのか、ひいては日本人として、これから子供たちに何を伝え残していくことが出来るのかを考えさせられる会でした。時代の流れから淘汰しつつある日本の伝統や文化をビジネスとして成功させながら残したい、と先生は仰います。「ビジネスとして成功させながら」が、ポイントです。普段必要とされるモノは進化をし、機能面を重視して量産され、良質で安価で平均的な商品となって陳列されます。便利で安く困らなければ、それでよしとなるのです。とはいえ、平均的に商品化したものは、更にそこからデザイン性が求められ、新たな文化が生まれることも事実なのですが、ここからのスタートで「日本独自の文化」として構築するには、ボーダレスなこのご時世に少し輪郭がぼやけてしまう気がします。先人が趣向を凝らして作り上げた、繊細で粋な伝統や文化を子供たちに伝えていくことは、日本に生まれた誇りを与え、そしてそれは揺るがない海外とのコミュニケーションツールとなり、日本人としての強みになるのです。伝統は途絶えたら終わりです。今でも後継ぎがい

なくて消えつつある小さな日本の技がたくさんあります。文字や映像で残らない技術はそこでゼロになってしまう可能性があるのです。課題は、「日本の技」をいかにビジネスとして成立させるか。需要がなければ供給もされず、どんな素晴らしい物でも自然淘汰されてしまいます。ランダムに思い描いている①～⑤のことを組み立てて、上手く循環する方法を探りたいと思います。

- ①伝統技術に日常接する機会作り
  - ②商品に魅力を感じてもらう機会作り(消費者として)
  - ③作成技術に魅力を感じてもらう機会作り(働き手として)
  - ④稼げる仕事としての構築
  - ⑤世代への技術引き継ぎ&応用/展開
- 日本には、高度できめ細やかな先端複合技術が世界標準になっている例が沢山あります。なにか工夫で、輝きを取り戻し、存続できる伝統技術もあるはず。これからの自分に何が出来るのか。物事を日々考えながら企画に反映し、小さくても繊細な動きかもしれない、アクションできるフットワークを、と思う今日この頃です。時として猪突猛進型になってしまう私に、考える機会を下された大山先生に感謝します。

布によるレリーフとも呼ばれる日本独自の「つまみ細工」



Producer  
宮崎 詩子

## 営業本部 第3プロジェクト

### 懐かしい記憶

日時：2013年3月20日・3月24日(オーナーズミーティング)  
会場：九州・大阪  
種類：制作・運営

#### ▶ 憧れ

第3プロジェクトでは今回、国内自動車メーカー様主催で行われた、スポーツカーオーナーズミーティング(特定のメーカー・車種を所有しているお客様を対象に行われる定例会イベント)の制作・運営として、九州・大阪2会場のイベントづくりに携わらせていただきました。全体の参加比率は低い数字でしたが、お子さんを連れただお客様も数名おり、お父さん・お母さんが楽しんでイベントに参加する姿をみて、自然と目がキラキラと輝き、笑顔がこぼれる子どもたちの様子が多く見られました。きつと、自分がどんなイベントに参加していることなどわからぬまま。そんな子どもたちをみていると、幼少の頃、親の姿を見て夢や憧れ、自分もこうなりたい・・・などと小さいながらも思っていた頭の奥底に沈んだ懐かしい記憶が淡く蘇り、この子どもたちがきっと将来のスポーツカー文化を盛り上げてくれるんだらうなと肌で感じる事ができました。言いすぎかもしれませんが、私どもの仕事とは「憧れ」を創り出す仕事なのかもしれません。その憧れが、夢となり明るい社会づくりに貢献していく。短い目線だけでなくその延長線にある次の世代を意識したモノづくりが、今の社会には必要であると、改めて感じた現場となりました。



Associate Producer  
黒川 和紀



### Vol.2 物事の見方と伝え方。

～第3プロジェクト 浦山善明～

先日、イベント会場のリサーチ作業をしておりました。規模感、基本仕様等こちらが希望するような内容の会場が全く見つからずいたところ、上司から見つかりませんで終わるのではなく、どうすれば使用できるのか?こうすればできませんか?など、物事の見方を少し変えて相手側にも分かりやすい言葉に噛み砕いて確認、提案してみるのも一つの手段であるとアドバイスを頂きました。早速実践してみると、できないと返答されていた会場であっても、完全に希望通りとはいかないまでもほぼ希望するレベルで会場を押える事ができました。物事を伝える際、自分の希望ばかりを伝えがちになりますが、物事の見方を変え、相手の目線に立ち、伝え方を少し変える事で、こんなにも全く異なる答えを得ることが出来るのだと身をもって実感し、今後リサーチ作業のみならず、様々な場面でこの事を意識していかなければと思うのでした。

## 営業本部 第5プロジェクト

## 営業本部 第5プロジェクト

### UCC Coffee Masters 2013 決勝

日時：2013年4月19日(金)～4月20日(土)  
会場：神戸ハーバーランドスペースシアター  
種類：制作・運営

#### ▶ 決勝大会の雰囲気には圧巻!!

2013年4月、全国大会の予選を勝ち抜いた4部門の選手方が神戸に集結。ドリップコーヒー、サイフォン、エスプレッソ、ラテ・アート、それぞれの日本一を決める大会「UCC Coffee Masters 2013」の決勝大会が開催されました。今回、決勝大会に携わらせていただいた僕が最も印象的だったこと、それは大会の雰囲気の良いこと。4月下旬にしてはやや肌寒い天候でしたが、選手方の熱気がその寒さを吹き飛ばし、さらには、UCC様と選手方との良い関係性が選手方に安心感と程良い緊張感を与えているように感じました。それが我々スタッフにも伝わり、結果として決勝大会に相応しい雰囲気を出せることができたのではないかと思います。今回の大会で学んだ「現場の雰囲気づくりの大切さ」を今後の現場でも活かしていけるよう、これからも精進していきたいと思えます!!



大会終了後に撮影したUCC様と選手全員の集合写真。皆さん良い笑顔ですね!!

～部門紹介～

- 《ペーパードリップ》ペーパーフィルターを用いてコーヒーをお湯で濾し、抽出する方法。注ぐ「湯量」と「湯を動かすスピード」がポイント。
- 《サイフォン》一端が長い曲管を倒立し、圧力差を利用して、短い方の口からとり入れた液体を他端から流出させる装置を使って抽出する方法。
- 《エスプレッソ》高い圧力をかけてコーヒーを抽出する方法。自然の浸透圧で抽出するドリップ方式に比べ少量の豆で効率良くコーヒーを抽出することができる。
- 《ラテ・アート》カプチーノの泡の表面に、模様やイラストを描いたもの。カプチーノが温かく泡の消えないうちに描く。ハートやリーフ(葉)など、様々な絵柄がある。

昨年を超えるたくさんのお客様にご来場いただきました。本当にありがとうございました!!

決勝大会の模様は次号!?お楽しみに!!



### 第1回 ～噂の新入社員現る!?!～

石川 華奈子



#### 皆様、はじめまして!!

4月1日より入社いたしました、石川華奈子です。皆様に早く石川のことを覚えていただくためにこの場をお借りして、自己紹介をさせていただきます。最後まで読んでいただき、石川ってこんな子なんだな、と知っていただくと幸いです。私は平成2年8月7日しし座のAB型です。趣味は、ダーツ・スノーボード・ダンス・御神輿をかつぐこと、そして何よりお酒を飲むことです!!実家では、母と祖母が麻布で料理教室を開いているので幼少期から料理をすることも好きです。入社する前は大学生でした。大学は千葉にあり、入学してすぐ学部全体で1年間のイギリス留学をしました。その間、地元の大学のチアリーディングサークルに所属しております。

帰国後は、友人とルームシェアしつつアルバイトをしております。ファミリーレストラン、喫茶店、結婚式の宴会、塾の講師等々やりましたが、社会人として働くことがこんなに違うものなんだと今、痛感しております。

#### ～学生と社会人の違いそしてこれから～

高校生の頃からアルバイトを経験していた私ですが、仕事をするということがこんなにも大変で、難しく、楽しいとは思いませんでした。例えるならば、学生は普通のパズルのように決められた絵に従って組み立てて完成させますが、社会人は枠のない、そして自分だけの完成図のない絵を組み立てるような感じです。時には、間違っただけのピースをつなぐこともあります。今、何より大変で難しいこととは、完成図もなく、枠もない絵のピースを集めることです。私はまだまだ経験も浅く、見てきたこと、聞いてきたこと、感じてきたことが少ないために、組み立てるよりもピースである「経験」をしなればと思っております。社会人になり学生と違って世界が広がり、責任もありますが何事にも挑戦するチャンスが増えました。失敗を恐れず、何事にも挑戦し「やらなかった後悔」よりも「やって失敗から学ぶ」こと、「今を生きる」状態が、私にはとても楽しく感じています。これからは「平成生まれの新しい風」を吹かしていきたいと思えます!

